

令和6年 死亡災害発生事例

(令和6年9月30日集計 ※「脳・心臓疾患」、「精神障害」、「新型コロナウイルス感染症」に係るもの及び調査中のものは除く)

埼玉労働局

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	被災者年齢層	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
1	1月	10時	陸上貨物運送事業	10～49人	40～44歳代	高速道路を大型トラックで走行中、混雑で低速走行中の大型バスに追突したものの。	交通事故	トラック
2	1月	10時	建設業(土木)	1～9人	65～69歳代	道路(公道)端部に埋設された集積柵の清掃作業後、同柵のふたを閉じる準備作業を行っていたところ、同僚の運転する車両に轢かれたもの。	交通事故	トラック
3	2月	21時	製造業(金属製品)	10～49人	65～69歳代	休日出勤した被災者が工場内に設置された、有機溶剤が充填している洗浄槽内で倒れているところを発見されたもの。	有害物等との接触	有害物
4	2月	14時	建設業(土木)	1～9人	20～24歳代	立木の伐倒作業において、自ら伐倒していた立木が裂け、激突されたもの。	激突され	立木等
5	2月	5時	廃棄物処理業	50～99人	40～44歳代	フォークリフトを運転して、フレコンバッグに詰められた荷を吊り上げ、運搬していたところ、同フォークリフトが横転し、下敷きとなったもの。	転倒	フォークリフト
6	2月	14時	建設業(土木)	10～49人	40～44歳代	敷地内の舗装面を均すため、整地用機械を使用していた被災者が、重機の操作をしながら、重機とともに後進した際に、重機とプラットホームに挟まれたもの。	はさまれ、巻き込まれ	整地・運搬・積込み用機械
7	3月	11時	社会福祉施設	1～9人	85～89歳代	施設の通用口の前の段差のあるところから道路上に落ち、頭部を打ち付けたもの。	墜落・転落	建築物・構築物

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	被災者年齢層	災害発生のあらし	事故の型	起因物
8	3月	14時	社会福祉施設	1～9人	60～64歳代	片側一車線道路を軽自動車にて移動中、対向車線にはみ出し、大型タンクローリーと正面衝突したものの。	交通事故	トラック
9	4月	14時	製造業	300人～	50～54歳代	作動不良となった装置を修理するため、電源は切り、装置のエアシリンダー部にあるロックピンを取り外したところ、エアシリンダーが動き、装置の構造部分に頭部が挟まれたもの。	はさまれ、巻き込まれ	その他の一般動力機械
10	5月	15時	建設業(土木)	1～9人	20～24歳代	被災者がドラグショベルの車体後部で倒れているのを発見されたもの。発見された際、ドラグショベルのエンジンはついた状態であった。	はさまれ、巻き込まれ	掘削用機械
11	5月	9時	その他の卸売業	10～49人	50～54歳代	首都高速道路を走行中に渋滞で最後尾に停車していたところ、大型トラックに追突されたもの。	交通事故	トラック
12	5月	9時	その他の事業	50～99人	20～24歳代	中型トラックを運転し、高速道路を走行中、第一車線に渋滞で停車していた大型トレーラーに追突し、同日死亡したもの。	交通事故	トラック
13	5月	9時	建設業(土木)	1～9人	75～79歳代	橋脚の工事において、クレーン機能付きドラグショベルを用いて、材料を吊り上げ、回転させたところ、台船上から重機ごと川へ転落したもの。	墜落・転落	移動式クレーン
14	6月	14時	建設業(その他)	1～9人	20～24歳代	作業のため、屋根上を歩き移動したところ、高さ約8mのガラス製の天窗を踏み抜き、墜落したもの。 災害発生時、被災者は保護帽及び墜落制止用器具を着用していなかった。	墜落・転落	屋根、梁
15	6月	14時	建設業(土木)	1～9人	50～54歳代	河川工事に伴う伐採作業において、伐木した木が「かかり木」となった。被災者は、かかられた木の伐木作業を行っていたところ、かかられた木が被災者のいる方向に倒れてきて下敷きになったもの。	激突され	立木等

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	被災者年齢層	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
16	6月	17時	産業廃棄物処理業	10～49人	40～44歳代	変圧室の動力盤（200V）に除じん装置の電線を結線しようとしたところ、身体が動力盤に繋がる銅製のブスバーに接触して感電したものの。	感電	電力設備
17	7月	15時	製造業	50～99人	60～64歳代	鉄骨を橋形クレーンで吊り、トラックに積み込む作業において、二段積みされた上段の鉄骨を吊り上げたところ、隣の鉄骨が崩れて、被災者が付近の鉄骨との間にはさまれたもの。	はさまれ、巻き込まれ	金属材料
18	7月	8時	陸上貨物運送事業	1～9人	55～59歳代	中型トラックを運転し、高速道路を走行中、渋滞していた車列に追突し、搬送先の病院で死亡が確認されたもの。追突したはずみで、合計5台が絡む玉突き事故となり、被災者のほか3名が重軽傷を負った。	交通事故	トラック
19	7月	11時	小売業	1～9人	40～44歳代	出張先において、乗車してきた車両のテールゲートリフターに胸を挟まれているところを発見された。	はさまれ、巻き込まれ	トラック
20	7月	16時	その他	1～9人	40～44歳代	油圧エレベーター（積載荷重0.6t）の定期点検を、一人でピット内に入り作業していたところ、搬器が降下し、搬器とピットの床に挟まれた。	はさまれ、巻き込まれ	エレベーター、リフト
21	7月	23時	陸上貨物運送事業	10～49人	60～64歳代	高速道路下り線において、トラックを運転中に前方の車両に気づかず、追突したものの。	交通事故	トラック